

# 第2回 津駅周辺道路空間再編検討委員会

## 津駅周辺道路空間における 賑わい創出の取組結果について

令和6年2月26日  
三重県

## 賑わい創出の取組概要

実施日 ■ 令和5年10月11日～10月22日（各日10時～18時）  
（交通規制は、10月10日～10月23日）

内容 ■ 県道だけでなく栄町公園も利用し、面的に賑わい創出の取組を実施  
(キッチンカーや店舗の出店、テーブル・イスを配置します)  
■ デジタルサイネージを駅周辺に設置し、東西連携や回遊性を高める



# 賑わい創出の取組状況

## 社会実験の平面図



## 横断図

# 賑わいの社会実験の調査項目

## 1 利活用の状況調査

拡張した歩道空間の店舗やベンチ・テーブル・イスについて  
どのような使われ方をしているか  
利用者数、利用状況等をビデオカメラで確認

## 2 東西連携や回遊性の調査

地下道や公園の利用者数、利用状況等をビデオカメラで確認

## 3 賑わいや滞留の意向調査

アンケート結果やヒアリング結果を確認

# 利活用の調査結果

キッチンカー・物販の出店者 32 店舗  
(延べ 95 店舗)



キッチンカーや店舗の状況

延べ利用者数 約 10,000 人

# 利活用の調査結果

働くクルマ等のイベント状況

働くクルマ等のイベント数8回



延べ利用者数 約2,000人



幅広い年代が様々なシーンで利用（家族、友達、恋人など）



## まとめ

- ・キッチンカー・物販の利用者延べ約10,000人、イベント参加者延べ約2,000人、合計延べ約12,000人(前回6,500人)が来場し大いに賑わった。
- ・テーブル・イスやベンチは、幅広い年代が自由に利用していた。
- ・栄町公園内に設置したテーブル・イスは、期間中の平均で、約5割以上が使用されており、平日のランチ時間帯では約7割、休日のイベント時には終日ほぼ満席であるなど、県道の賑わいが公園周辺に面的に波及した。



## 東西連携や回遊性について

- 社会実験の前後で、地下道利用者数をカウント
- 回遊状況を確認するため、栄町公園周辺の歩行者交通量を調査



## 地下道利用者数の変化（西口から東口方向（平日））

- 地下道利用者数は、実験前と比較し、実験中で約3割増
- 実験中の時間当たりの歩行者交通量は、ランチ時間帯で約5割増
- 夕方の利用者数増加は学生と考えられる

### 12時間交通量の変化

横断歩道	実験前	実験中	増減	増減率
歩行者	728	974	+248	134%

### (人) 時間当たりの歩行者交通量の変化



※実験前：10月6日（金） 実験中：10月12日（木）

※ランチ時間帯：11時～14時

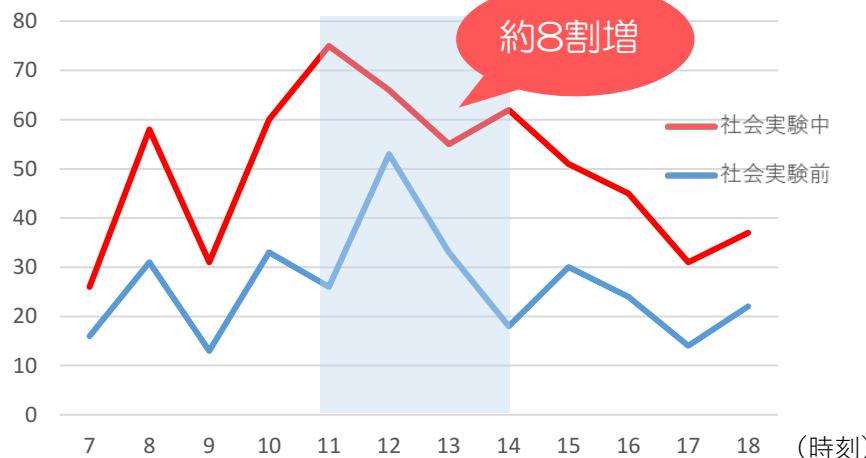
## 地下道利用者数の変化（西口から東口方向（休日））

- 地下道利用者数は、実験前と比較し、実験中で約2倍
- 実験中の時間当たりの歩行者交通量は、ランチ時間帯で約8割増
- 11時頃がピーク。その後も急減することなく多くの方が東口に来られた

### 12時間交通量の変化

横断歩道	実験前	実験中	増減	増減率
歩行者	313	597	+284	191%

### (人) 時間当たりの歩行者交通量の変化



※実験前：10月9日（日） 実験中：10月22日（日）

※ランチ時間帯：11時～14時

## 公園周辺の歩行者交通量の変化（平日）

- ①の交通量は、実験前と比較し、実験中で約2倍
- ②③の交通量は、実験前と比較し、約1～2割増
- ランチ時間帯の①の交通量は、実験中で約3倍

→ 県道でランチを購入 → 公園で食事 → 仕事

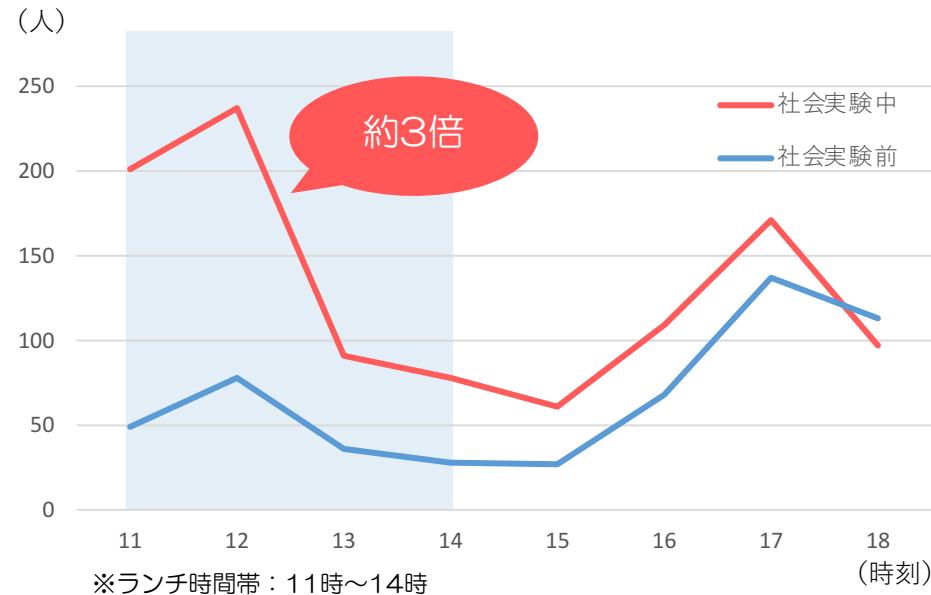


交通量の変化

方向	実験前	実験中	増減	増減率
①	543	1045	+502	192%
②	777	937	+160	121%
③	453	495	+42	110%

※実験前：10月6日（金） 実験中：10月12日（木）

方向①の時間当たりの歩行者交通量の変化



## 公園周辺の歩行者交通量の変化（休日）

- ①の交通量は、実験前と比較し、実験中で約7倍
- ②③の交通量は、実験前と比較し、約2～3倍
- ランチ時間帯の①の交通量は、実験中で約11倍

→ 県道でランチを購入↔公園で食事・イベント

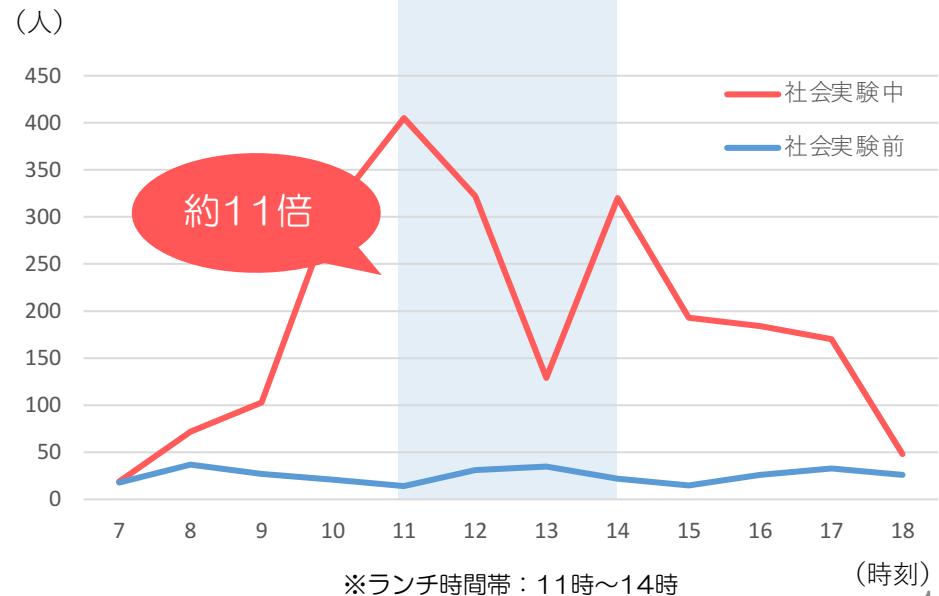


交通量の変化

方向	実験前	実験中	増減	増減率
①	305	2273	+1968	745%
②	411	1279	+868	311%
③	300	785	+485	261%

※実験前：10月9日（日） 実験中：10月22日（日）

方向①の時間当たりの歩行者交通量の変化



## 2 東西連携や回遊性の調査結果

まとめ

地下道や公園周辺の交通量

- ・地下道利用者数（西口から東口方向）は、実験前と比較し、平日で約3割増、休日で約2倍となった。ランチ時間帯は、平日で約8割増、休日で約3倍となった。
- ・公園周辺の交通量についても同様の傾向があり、実験前と比較し平日で約2倍、休日で7倍となった。また、公園のテーブル・イスは休日のイベント時にはほぼ満席となり、音楽ライブを聞くことなど自由にゆっくりと飲食等（滞留）をしていたと考えられる。

### 3 賑わいや滞留の意向調査結果

#### 調査対象者

- ・賑わいの社会実験の来場者と出店事業者

#### 調査方法

- ・HPでアンケートフォームを公開
- ・現地でアンケートに直接アクセスできるQRコードを配布
- ・QRコードをキッチンカーに掲示、  
チラシ・ポスター、現地に設置したテーブルに掲載

#### 回答者数

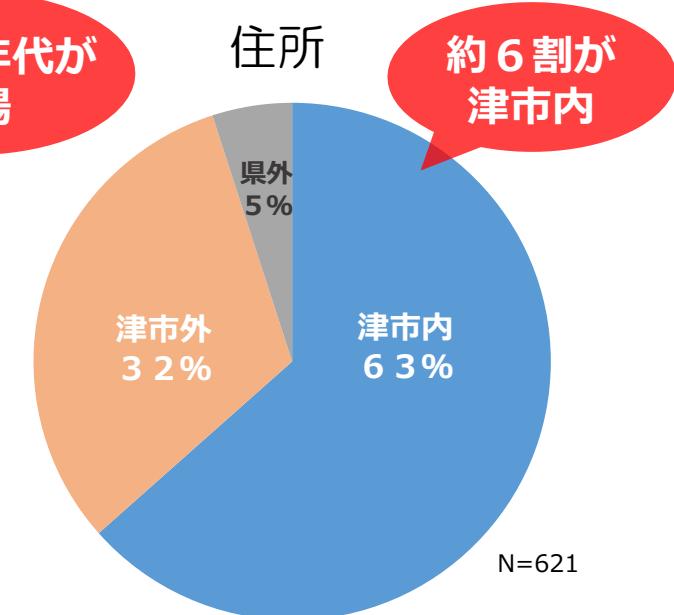
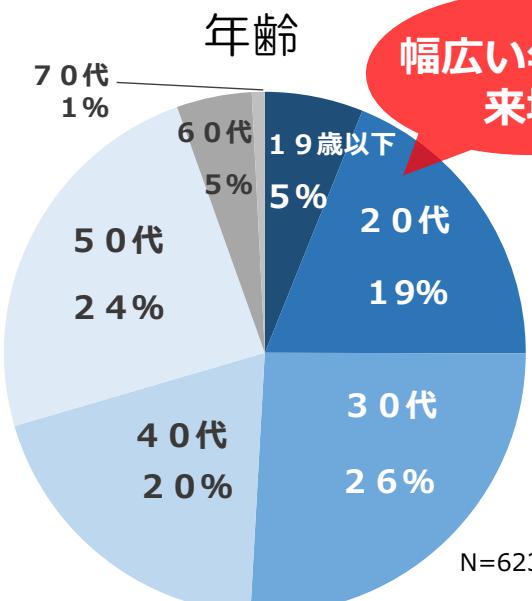
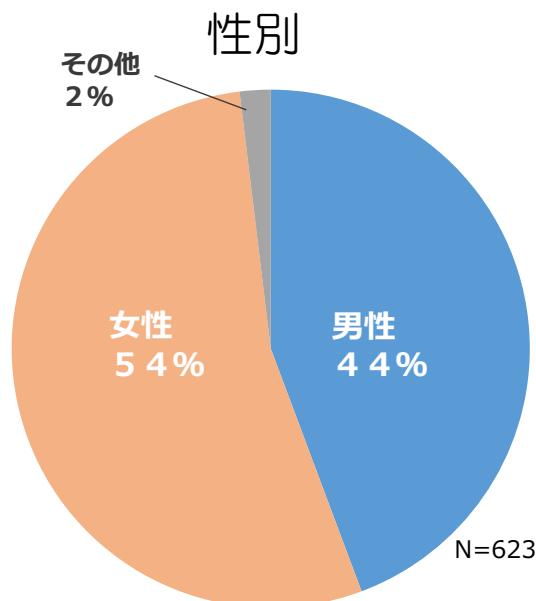
- ・来場者アンケート 626人
- ・出店事業者アンケート 37人

年齢

幅広い年代が来場

住所

来場者の約6割が津市在住者



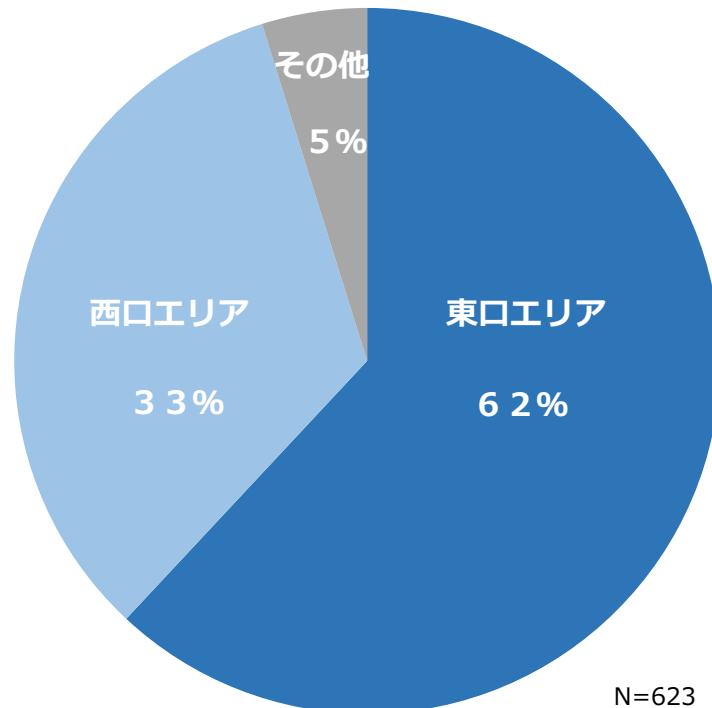
エリア

来場者の約6割が東口エリアから来場

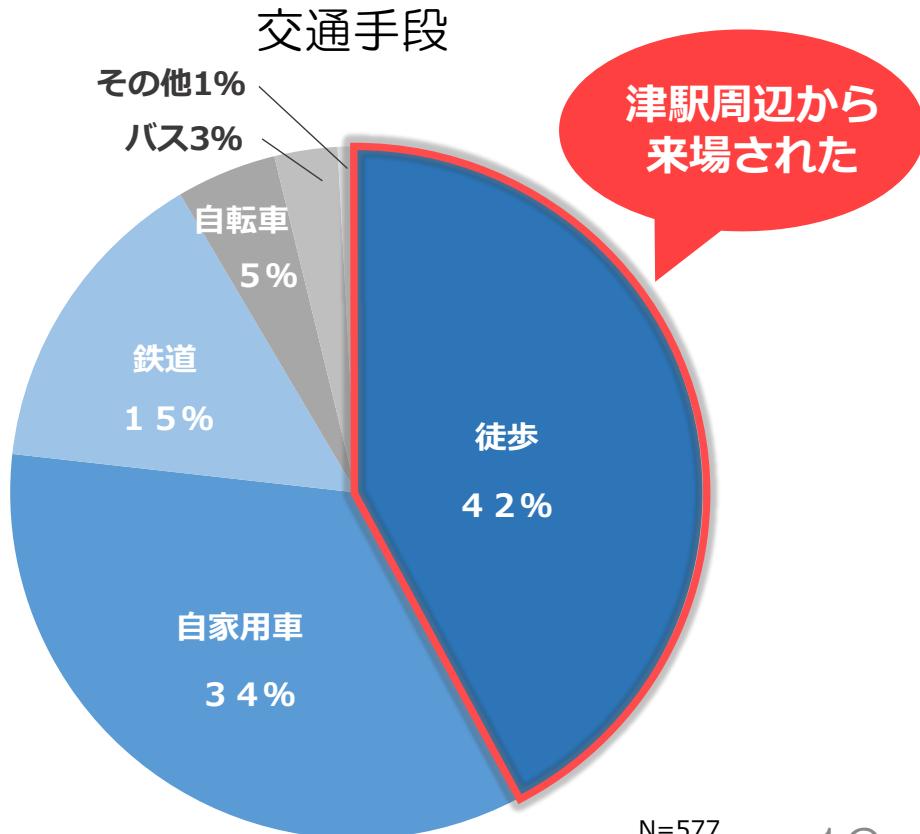
交通手段

約4割が徒歩での来場

エリアについて



交通手段



津駅周辺から  
来場された

利用回数

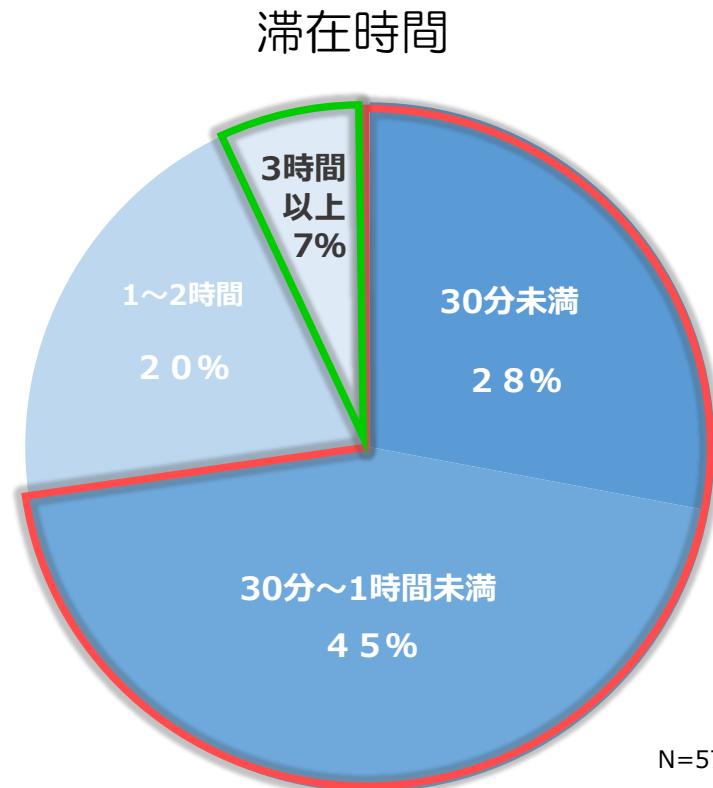
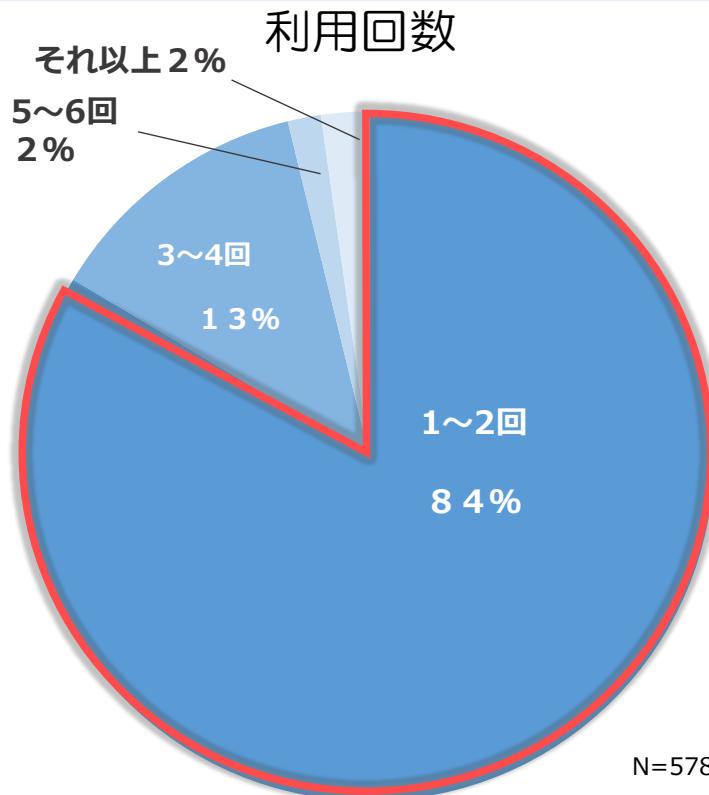
1～2回が約8割

滞在時間

1時間未満が約7割 →多くの方が持ち帰りの利用

3時間以上が約1割 →公園使用が滞留に影響あり

(前回調査の3時間以上1%未満から増加した)

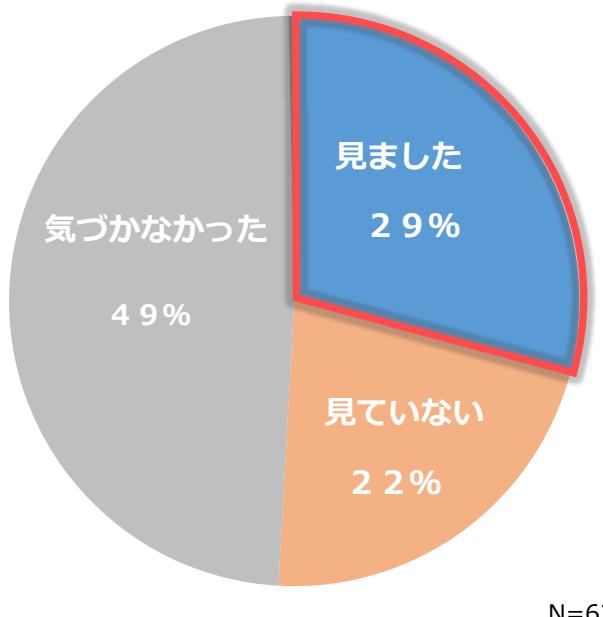


### デジタルサイネージ

来場者の約3割がサイネージを見たと回答

また、約半数がサイネージについて気づかなかったと回答

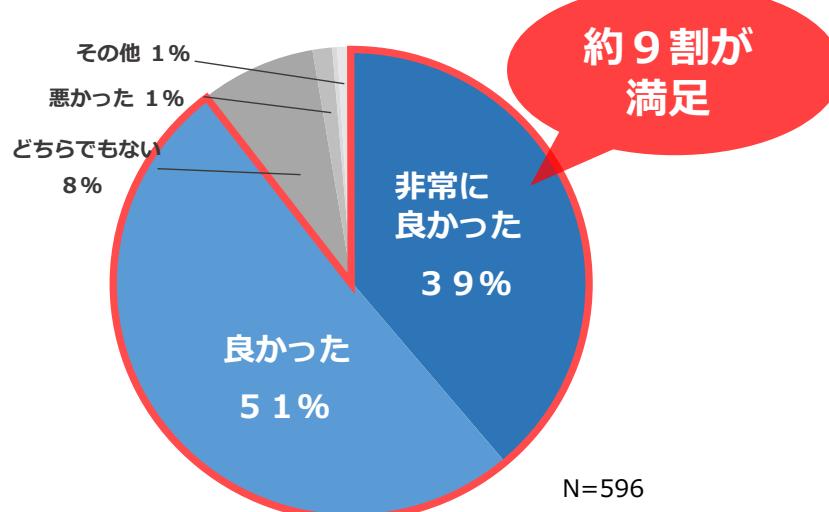
デジタルサイネージを  
見ましたか



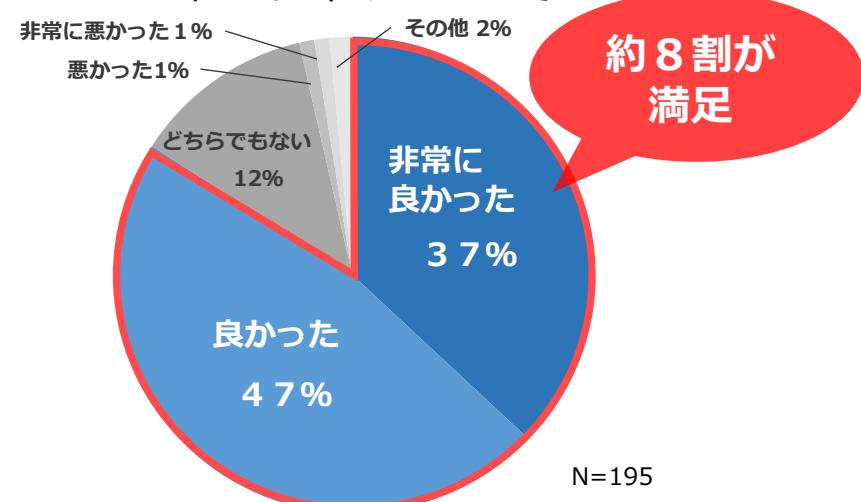
西口にもサイネージがあり  
わかりやすかったとの声がある一方で  
電源の関係から自由に設置ができず  
周囲に溶け込み、気づきにくかった



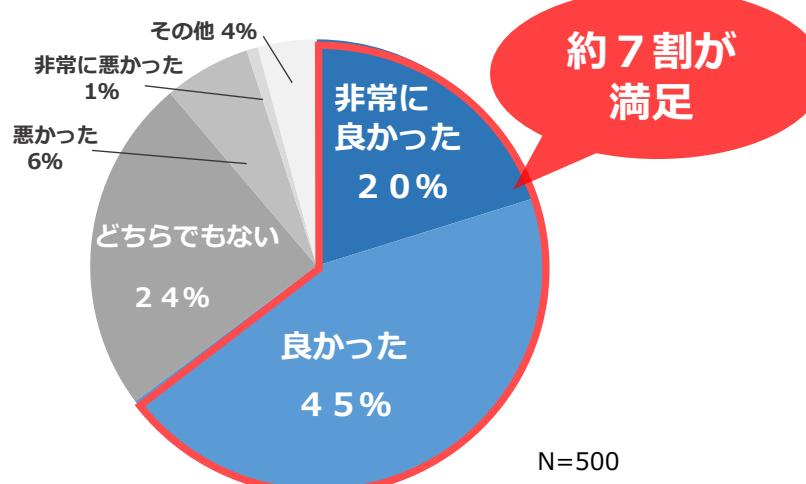
キッチンカー  
物販の出店について



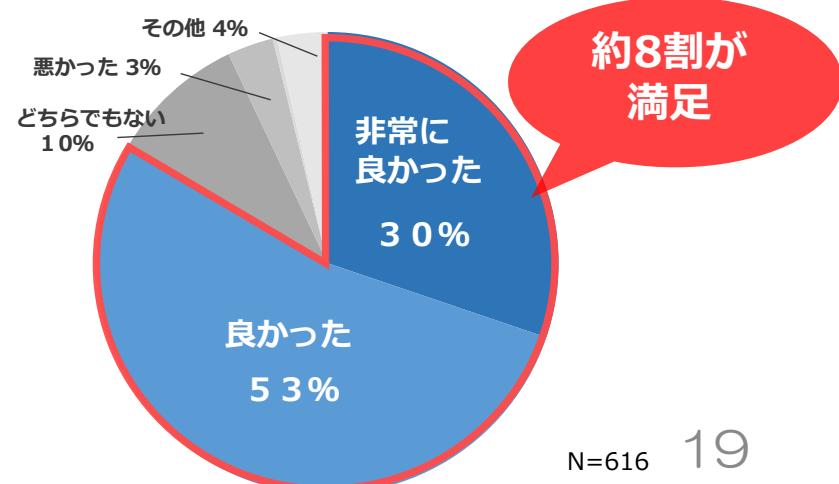
働くクルマ等の  
イベントについて



ベンチ・テーブル等について



栄町公園の使用について



賑わいの社会実験

出店事業者の全員が満足と回答

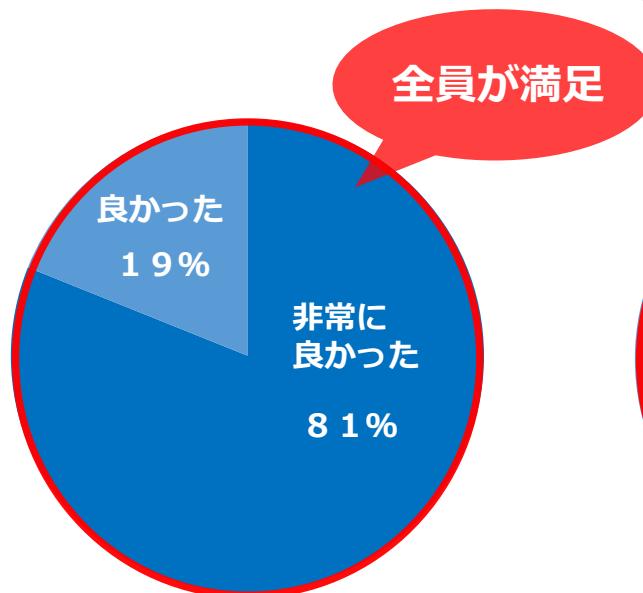
今後の出店意向

出店事業者の全員が出店希望と回答

このような取組

出店事業者の全員が満足と回答

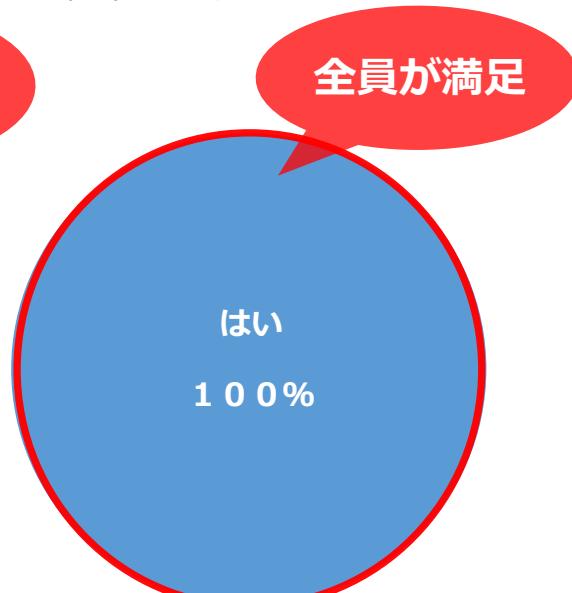
賑わいの社会実験について



今後の出店意向について



今後の取組について



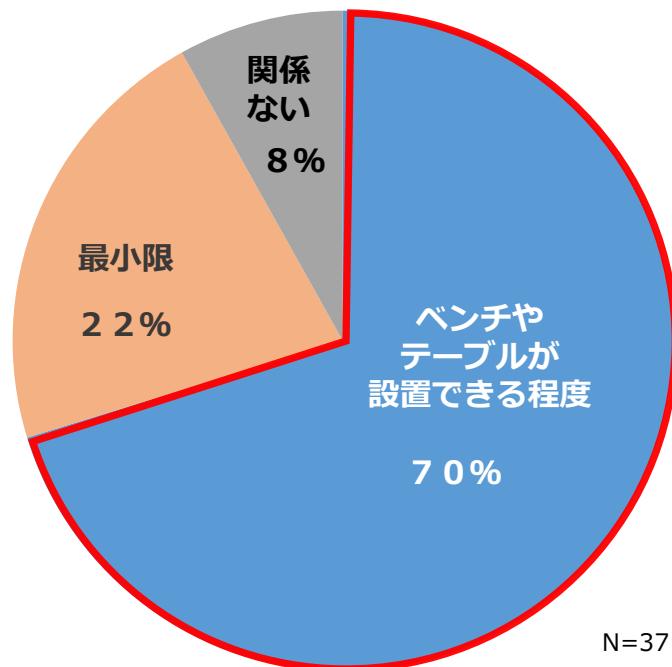
隣接事業者との距離

ベンチ等が設置できる程度の離隔が7割

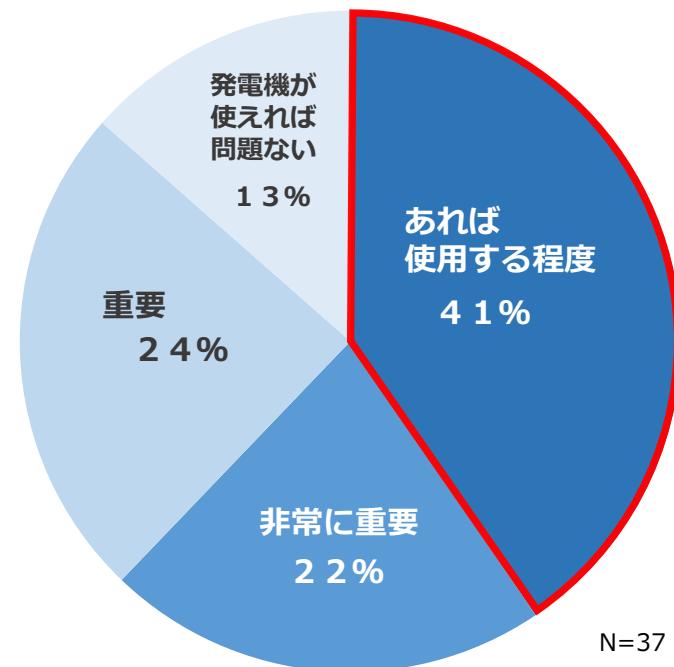
電源について

約4割があれば使用する程度と回答

出店事業者の配置間隔  
事業者間の離隔について



電源について



### 3 賑わいや滞留の意向調査結果 意見・提案

#### 来場者の主な意見

- ・津駅前が賑やかで活気があるように感じた。継続・定着してほしい。
- ・楽しかった。周辺店舗でも買い物や食事をした。
- ・栄町公園のテーブル・イスでゆっくり過ごすことができ、良かった。
- ・子どももすごく喜んでいた。駅前で家族連れが楽しめる土日イベントがあるのがとても嬉しい。実装が楽しみです。
- ・テーブル・イスの数が少なく、もっと欲しかった。
- ・キッチンカーの出店数が少なく残念だった。
- ・日差しを遮る木陰がなかった。
- ・バリアフリー化（段差解消・タイルをやめる）をしてほしい。

### 3 賑わいや滞留の意向調査結果 意見・提案

#### 近隣店舗の主な意見

- ・賑わって良かった。数か月に1回実施してほしい。
- ・楽しみにしていた。普段にないものが購入できて嬉しかった。
- ・栄町公園でイベント（ミニライブ）の実施やテーブル・イス等を配置したことで、栄町公園の新たな使い方がわかった。
- ・キッチンカーで買った商品のゴミを沿線店舗のゴミ箱に捨てられた。
- ・出店者のBGMの音量が大きく、うるさかった。

### 3 賑わいや滞留の意向調査結果

#### まとめ

- ・社会実験には、幅広い年代が来場し、来場者の約4割が津駅周辺に在住の方や津駅周辺で働いている方と考えられる。
  - ・来場者や事業者から満足との回答がほとんどだった。
  - ・近隣店舗の方からも好評だった。
  - ・栄町公園の使用について、8割以上が高評価であり、公園を使用したことでの滞在時間が伸び、滞留が図れた。
- 
- ・一部のデジタルサイネージについて、歩道上に電源設備があれば、より効果的に配置でき、多くの来場者が利用できる。
  - ・日差しを遮る木陰等があれば、より長く滞在できる。
  - ・バリアフリー化をすれば、来場者がより安全に利用できる。

# 3 賑わいや滞留の意向調査結果

まとめ

滞留に必要な要素

魅力のあるコンテンツ



日差しを遮る木陰やベンチ



効果的なデジタルサイネージ



賑わいや滞留機能の強化が可能

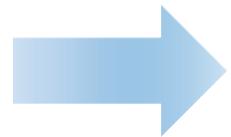
# 賑わいの社会実験に関する総合評価

## まとめ

利活用の調査結果

東西連携や回遊性の  
調査結果

意向調査結果



- 津駅周辺において面的な賑わいの創出が図れた
- 東西連絡通路の利用者数や駅周辺での滞留時間が増加

道路空間の再編に加え、公園を利用することで  
面的な賑わいの創出や東西連携、滞留機能の強化が可能

# 次年度の方向性について

次年度

- 社会実験の結果を踏まえ、歩道空間の拡張について、具体化（概略検討等）を進めます。

